

芭蕉蔵

優秀作品発表

第12回

兼題「冬の月」「寒月」の部

特選第一席

野良猫の哀しき軽さ寒の月

杉並区 藤本智子

特選第二席

母ひとりのこして戻る冬の月

調布市 林 幸江

特選第三席

千体の水子の叫び冬の月

伊勢原市 中本萬里

【講評】

今回の兼題「冬の月」「寒月」は、単なる月(秋)として用いると失敗します。背景にある「冬」という寒く厳しい重い季感と、そういった中で冴え冴えと輝く月の特質を十分に生かす工夫をしたいものです。

特選第一席、帰宅途中の夜道での出来事でしょうか。出会った野良猫を抱き上げてみたのでしょうか。予想以上に軽かったという驚きを「哀しき軽さ」と表現したことによって、野良猫に対する作者の優しさが伝わってきます。また、そんな猫も厳寒の中で生きていかざるを得ない、自然界の厳しさが「寒の月」によって表れています。カ音のリフレインも効果的に働いた一句です。

【入選】

寺町の地蔵さびしき冬の月	練馬区	伊藤たか子
寒月や毛細管めく枝の先	町田市	牛島興成
みちのくの一本杉に冬の月	墨田区	春日野紀清
湯殿への長き回廊冬の月	文京区	杉山保廣
遮断機の向かうの子にも冬の月	伊勢原市	中本郷顔
ふるさとを汽車から眺め冬の月	東久留米市	夏目 忠
寒月や海に向きたる海女の墓	習志野市	本城宏基
見せられぬ模試の成績冬の月	調布市	水谷友二

【添削例】

寒満月光陰は人それぞれに (原句)	←	佳きことも数々ありて栗拾ふ
寒月や光陰は人それぞれに (添削句)	←	佳きことを数ふることく栗拾ふ
ぼた山を寒月白く照らしけり	←	淋しい日屋根にのぼつて月を見る
ぼた山を白く照らして寒の月	←	淋しさに屋根にのぼりて今日の月
またしても心変わりや冬の月	←	枯葉徑シャンソンそつと舞ひてをり
またしても変はりし心冬の月	←	シャンソンの降りくるごとき枯葉徑
終電の尾灯遠のき冬の月	←	あざやかに紐伸びゆきて独楽まわる
終電の遠のく尾灯冬の月	←	あざやかに伸びゆきし紐独楽回し

自由題の部

特選第一席

こころ病む吾子の哀しき小夜時雨

町田市

牛島興成

特選第二席

生きたるとは繰り返すこと春支度

横浜市

永易幸茂

特選第三席

帰り花ひねもす影の定まらず

墨田区

かせだ紀女

【講評】

自由題の特選第一席には、心を病む子供の様子を憂える親の心境が詠まれています。精神を病むストレスの多い現代ではありますが、それが我が子のこととなれば、心配も一入でしょう。肉体の病気とは異なり、親としても手助けしたいけれどどうしてよいか分からないというのが正直なところかも知れません。それだけに一層、哀しさを感ずるのです。小夜時雨という季語が、親子双方の心を象徴し、一句に説得力を与えています。

第二席の季語「春支度」(冬)は、新年の用意をすることで、「年用意」とも言います。毎年毎年、歳末がくるたびに

繰り返す新年の用意。そうしながら、人間は年を重ねていくものです。作者はそこに着目し、人間の営為の反復性を表現しました。一年の多様な歳時の中、「年用意」に注目したために、忙しくもどこか明るい希望を感じさせる句となりました。

第三席は「帰り花」(冬)を詠みつつも、実体ではなく、その影を描写して成功した作品です。寒風の中で咲いた一輪の花。一日中、北風を受け、震えているのでしよう。その影の様相が、影のみならず、花そのものを、ひいては冬という季節の特質も伝える作品となっています。

【入選】

孕みたる瞳やさしき寒立馬
暗がりの中のともしび石露の花
赫々とつれなき没り日冬に入る
秋灯やいつもの順にともりたる
賀正書く古き友への旅路めき
パズル解く額寄せ合ひ良夜かな
とびきりの一句あため初句会
風花やロートレックを飾る街
若き日が湯気の向かうに根深汁

杉並区 有賀三奈子
練馬区 伊藤たか子
千葉市 梅林秋浪
松戸市 加藤浩雲
江戸川区 坪谷陽平
伊勢原市 中本萬里
杉並区 西村ちづ子
千代田区 野尻正雄
鎌倉市 細田 俊

応募方法

- 1 応募用紙を明治大学ホームページからダウンロードするか、あるいはA4用紙に次のことを記載の上、郵送・ファックス又はメールで応募してください。
http://www.meiji.ac.jp/koho/desukara/info_book/zasshi_bashoukura.html
- 2 未発表作品に限ります。
- 3 自由題と兼題のそれぞれ2句まで応募できます。応募は無料です。
- 4 自由題と兼題、どちらかを○で囲む、あるいは記してください。(1枚の用紙に自由題と題詠の併記は不可)
- 5 住所・氏名・電話番号・作品等、必要事項を記入してください。
※ペンネーム(併号)の場合も、必ず本名を併記してください。
- 6 文字は楷書で記してください。
- 7 応募作品は返却しません。
- 8 特選に選ばれた方には特製図書カードを贈呈いたします。

応募先 明治大学経営企画部広報課 芭蕉蔵係
〒101-8301
東京都千代田区神田駿河台1-1
TEL03-3296-4083 FAX03-3296-4087
MAIL koho@mics.meiji.ac.jp

次号兼題 「春一番」
2月15日必着



西山春文

選句・講評

「狩」同人、俳人協会幹事
日本文藝家協会会員
本学商学部教授